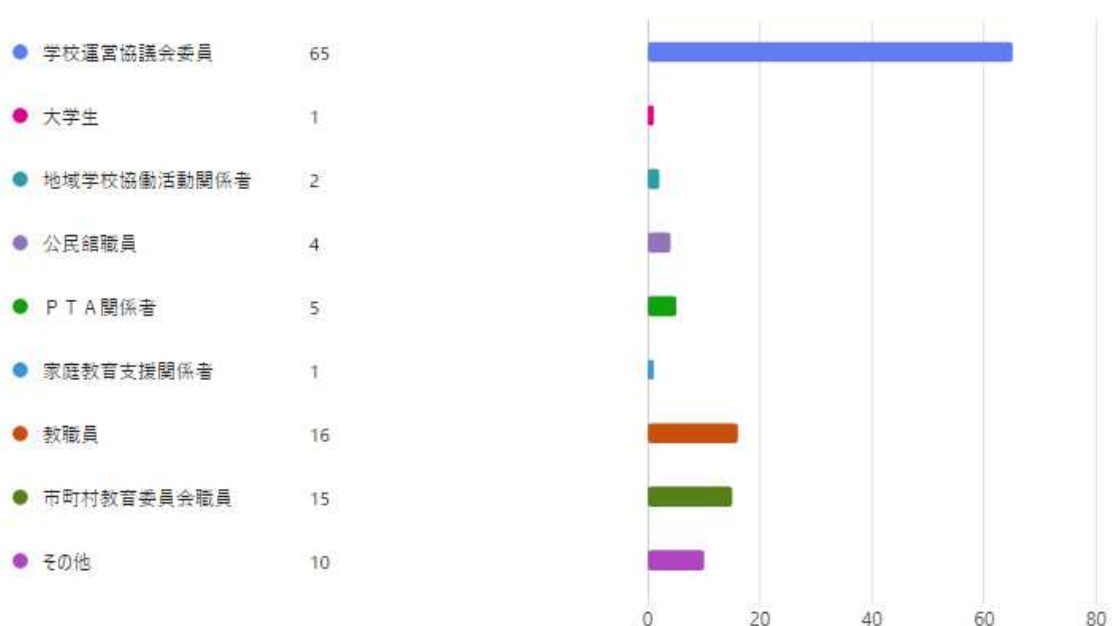


令和6年度学校運営協議会委員研修会

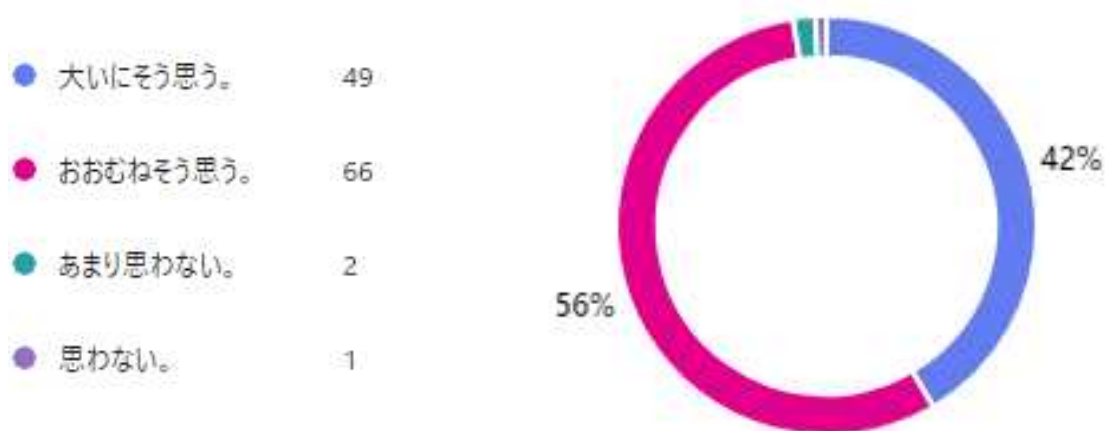
参加者数：163名【参集：107名 オンライン：56名】

アンケート集計結果（アンケート提出者119名：回収率73%）

1 参加者の所属、職種について（複数回答可）

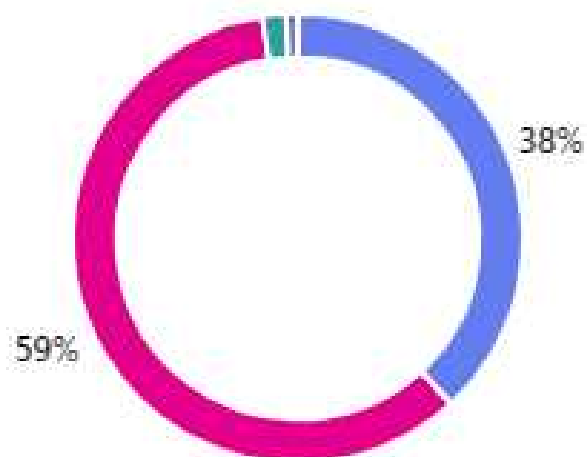


2 研修会に参加して、学校運営協議会について理解できた。



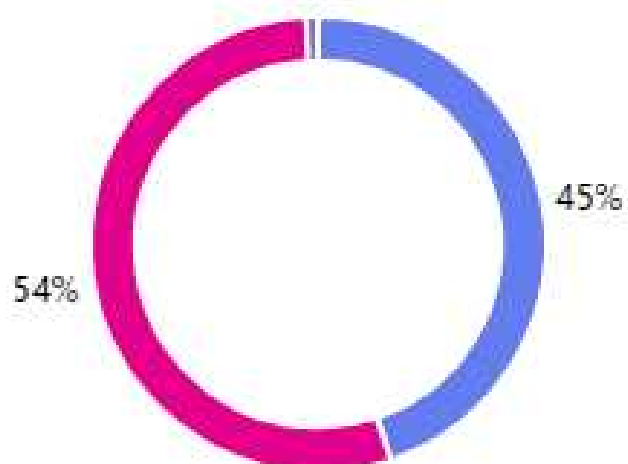
3 研修会に参加して、地域学校協働活動について理解できた。

● 大いにそう思う。	45
● おおむねそう思う。	70
● あまり思わない。	2
● 思わない。	1



4 研修会に参加して、今後、それぞれの立場において、コミュニティ・スクールに関わる取組を推進していこうと思う。

● 大いにそう思う。	52
● おおむねそう思う。	63
● あまり思わない。	0
● 思わない。	1



ご意見・ご感想（一部抜粋）

講演について

- 活動をすることに意識が向きがちだが、そうではなく理想の学校・地域について共有し、それについて協議することが重要だと感じました。
- 協議会の進め方や話し合う方向性を確認することができました。会議の回数も必要だったらとったら良いこともわかりました。
- 全国フォーラムでご活躍の志々田先生のお話を間近で聞いて、とてもためになりました。本市は学校運営協議会が設置され、6年目になり、どうしても何か活動をしなればいけない、つながりが広がらなければ意味がないと考える学校が出てきています。そんな中、「何のために？」という原点を確認させていただきました。明日から本市の学校運営協議会にもう一度伝えていきたいと思います。
- C/Sに関して、今までとは異なる切り口だったので、学びの多い研修になりました。
- どんなことをやるかではなく、何のために何をやるかということをお大切にしなければと痛感しました。
- 少なくなっているこどもに対していつの時代もすごくみんなで考えてくれているのだと改めて知りました。保護者だけ、学校だけ、地域だけ、ではなく、新しく覚えた協働という活動を大事にしていきたいと思います。
- 学校運営協議会が今のこどもの状態、先生の考えをしっかりと理解し、何ができるかを考える機会をしっかりとつくりたいです。
- やるが大事なのではなく、何のためにやるのかが大事だという言葉が心に響きました。業務に取り組んでいると、必死になり何のためにという原点を振り返らず、やることに必死になっているときがあります。大切なことを思い出させてくれました。

グループワークについて

- 本市でもエンタくんを使ったワークショップはよく開催するのですが、今日のようないい進行をすれば良いのかと気付かされました。現状の分析と理想をつなげる手立てを考えていこうと思います。
- 有田市以外からもお越しくださっていたので上富田や白浜の方などにつながりをもってよかったです◎付箋を貼ることで一人一人に発言する機会をつくる工夫もマネさせていただこう！と思いました。
- 初めて会った人とこどもについて話ができてとても楽しかったです。保護者としての目線でしか意見を出せなかったのですが・・・（とても言葉にするのは難しいです）とても勉強になりました。こどもにもこのような経験をしてほしいと思いました。
- 他地域のことが聞けて、自分の地域でもやってみたいと思う事例がありました。

全体を通して

- 今日のようなグループワークに、事務局のファシリテーターが1名ずつ入っていただけるような規模の研修ができるのが理想的だなと感じました。同じ目的に向かって、学校と地域が協働していく中で、役割はそれぞれ違いますが、地域側の関係者のレベルが高まっている中、本市では教職員の理解が進みにくい現状があります。学校訪問でもCSの話を市教委としてもするのですが、県教委からもより強い声かけ（既にさせていただいていますが・・・）を先生方にさせていただけるとさらに助かります。
- 毎年、委員研修を開催していただきたいです。
- こどもが自分たちの学校のこと、色んな大人が関わっていることを一緒に知り、加われるとよいと思いました。
- こどもの数が少なくなっている中で、その地域の将来を見据えてみんなで考えていく姿勢が大切だと思いました。また、こどものことや先生についてもっと知ってもらった方がいいと思いました。
- グループワークの時間がタイトだったので、あせってしまいましたが、それぞれがうまく進行できるように気遣い合えたところが、このグループワークのよさかな、とも思いました。
- 付箋を使うのは書くことで発言しやすくなるというようなことをおっしゃっていたと思うのですが、正にコミュニティ・スクールでこどもたちや共に協働する保護者、先生、地域の方々でも言いたいけど言えない思いがあるのかもしれない。
そういう意見をとりこぼさずに聞けるコミュニティでありたいなと思いました。
- 学校運営協議会委員の方が自ら委員の役目に就いたという人ばかりではないはず。
委員だけ「学校運営協議会」ってなんだ？という思いの中、何かやることがあればやる。
でも、研修会に来られているということは、それぞれ何か思いを抱いているのではないかと思います。まだ「学校運営協議会」を掴めていない委員さんには、講義内容が消化しきれないままだったのではないのでしょうか。講師先生が言っていることは分かる…けど、自分がつながっている教職員、協議会委員メンバーとの関係性に立ち戻ったとき、講義内容は「理想」でしか捉えられない。「そうは言っても実際はなああ…」という思いがあったのではないかと（憶測に過ぎませんが…）機会としては大変貴重な機会でした！！
また参加させていただきたいです。